



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社 コピキタスAI  
コード番号 3858 URL <https://www.ubiquitous-ai.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 聡

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 芦谷 耕司

TEL 03-5908-3451

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,225	10.3	170		160		164	
2022年3月期第3四半期	1,366	10.2	23		12		27	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 175百万円 ( %) 2022年3月期第3四半期 23百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	15.76	
2022年3月期第3四半期	2.60	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,627	2,266	86.3
2022年3月期	2,974	2,442	82.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,266百万円 2022年3月期 2,442百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,152	4.6	5	93.6	5	94.5	3		0.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	10,459,000 株	2022年3月期	10,459,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	117 株	2022年3月期	117 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	10,458,883 株	2022年3月期3Q	10,458,883 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

第4四半期の売上等を現時点において合理的に算定することが難しいことから、従来の予想値を据え置いております。  
詳細並びに業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は1,225,736千円、2022年6月22日公表の通期業績予想に対し57.0%の達成率となりました。

「ソフトウェアプロダクト事業」は、組込みネットワークソフトウェア及びセキュリティ関連ソフトウェア製品、データベース製品、高速起動製品等の、主に自社開発によるデバイス組込み用ソフトウェアの開発及び販売等に関するセグメントであります。

「ソフトウェアディストリビューション事業」は、海外ソフトウェアの輸入販売、テクニカルサポート及びカスタマイズ開発に関するセグメントであります。

「ソフトウェアサービス事業」は、株式会社エイムにおける、組込みソフトウェア等の受託を中心とした各種ソフトウェアの設計、開発及びデータコンテンツのライセンス販売等に関するセグメントであります。

セグメント別の売上内訳及び事業状況は、以下のとおりであります。

セグメント	当第3四半期連結累計期間		前第3四半期連結累計期間	
	売上高(注) (千円)	売上割合 (%)	売上高(注) (千円)	売上割合 (%)
ソフトウェアプロダクト事業	409,031	33.4	523,996	38.3
ソフトウェアディストリビューション事業	641,803	44.3	605,140	44.3
ソフトウェアサービス事業	174,902	17.4	237,722	17.4
合計	1,225,736	100.0	1,366,859	100.0

(注) 売上高は、セグメント間取引を消去しております。

■ソフトウェアプロダクト事業

ソフトウェアプロダクト事業の売上高は409,031千円(前年同四半期比21.9%減)、セグメント損失は44,912千円(前年同四半期は118,415千円の利益)となり、売上・利益ともに前年同四半期を大きく下回る結果となりました。これは、前年第2四半期においてセキュリティ関連製品の大口案件で売上・利益を計上したこと、及びデータベース関連製品の既存顧客がコロナ禍で製品の生産に大きな影響を受けたこと、並びに組織再編により当事業における当四半期の人件費が増加したことによるものであります。

コネクティビティ、セキュリティ&リアルタイムOS関連製品では、HEMS関連の既存顧客、産業機器および医療機器関連の新規顧客からの契約時一時金売上を計上いたしました。また、半導体メーカーとの協業取り組みの一環として受託開発売上を計上しました。

高速起動製品では、国内外の車載機器関連、海外民生機器の既存顧客からのロイヤルティ売上を計上いたしました。引き続き、カーナビゲーションシステム等車載向け機器を中心に、複数社との間で大・中規模案件の開発が継続しております。

データベース製品では、産業機器等の既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上いたしました。

2022年11月、ルネサス エレクトロニクス株式会社のRAファミリMCUに対応した、短期間でセキュアかつスマートなIoT機器を開発するためのオールインワンソフトウェアパッケージの提供を開始したことを発表いたしました。

■ソフトウェアディストリビューション事業

ソフトウェアディストリビューション事業の売上高は641,803千円(前年同四半期比6.1%増)、セグメント損失は120,254千円(前年同四半期は183,951千円の損失)となりました。

BIOS製品「InsydeH20<sup>®</sup>」(「EFI/UEFI」仕様を実装したC言語ベースBIOS)、ワイヤレス製品「Blue SDK」(Bluetoothプロトコルスタック)のロイヤルティ売上、ソフトウェア品質向上支援ツール製品「CodeSonar」(ソフトウェア静的解析ツール)のライセンス売上、AIソリューション製品「CoDriver」(ドライバーモニタリングシステム)の契約時一時金売上、サイバーセキュリティ対策製品「beSTORM X」(IoTセキュリティ検証ツール&サービス)等の多数の取扱い製品において、新規・既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上いたしました。

2022年11月、Brighter AI Technologies GmbH(本社:ドイツ)の画像・映像匿名加工ソリューション「brighter Redact(ブライターリダクト)」の提供を開始したことを発表いたしました。

同月、Profet AI Technology Co., Ltd. (本社:台湾)と販売代理店契約を締結し、同社が開発した製造業DXを実現する機械学習ツール「Profet AI AutoMLプラットフォーム」の提供を開始したことを発表いたしました。

同年12月、次世代Bluetooth® Audio「LE Audio」に対応したBluetoothプロトコルスタック「Blue SDK 7.x」の提供を開始したことを発表いたしました。

当四半期において販売を開始した製品は、以下のとおりです。

- ・ デバイスマネジメント向けソリューション「FTTHデバイスマネジメントプラットフォーム」(Friendly Technologies)
- ・ 映像匿名加工ソリューション「brighter Redact」(Brighter AI Technologies GmbH)
- ・ 製造業DX向け機械学習ツール「Profet AI AutoML」(Profet AI Technology Co., Ltd.)

#### ■ ソフトウェアサービス事業

ソフトウェアサービス事業の売上高は174,902千円(前年同四半期比26.4%減)、セグメント損失は5,665千円(前年同四半期は41,844千円の利益)となりました。

ソフトウェアサービス事業では、既存顧客との各種受託開発売上、データコンテンツ「YOMI」に関する車載機器向けを中心としたライセンス使用料売上等を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高1,225,736千円(前年同四半期比10.3%減)、営業損失170,831千円(前年同四半期は23,692千円の損失)、経常損失160,553千円(前年同四半期は12,621千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失164,781千円(前年同四半期は27,234千円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,036,936千円(前連結会計年度比391,969千円減)となりました。その主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少であります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、590,701千円(前連結会計年度比44,658千円増)となりました。その主な要因は、建物や工具、器具及び備品の増加であります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、269,108千円(前連結会計年度比179,033千円減)となりました。その主な要因は、資産除去債務や買掛金の減少であります。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、91,768千円(前連結会計年度比7,452千円増)となりました。その主な要因は、資産除去債務の増加であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,266,760千円(前連結会計年度比175,729千円減)となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期及び当第3四半期の当社業績は回復基調にあったものの、半導体・部品不足による自動車などの販売台数の減少やロックダウンによる一部顧客の事業活動の停滞などを受けた当第1四半期の落ち込みが大きく、当第4四半期に見込まれるロイヤルティ売上・利益を計上してもリカバリが難しいため、連結業績予想は営業損失になる見込みであります。ただ、ロイヤルティ売上は顧客の製品出荷数に左右されるものであり合理的に算定することが難しいため、連結業績予想の修正につきましては、分かり次第公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	705,449	537,769
受取手形、売掛金及び契約資産	652,604	368,192
有価証券	1,000,000	1,000,000
仕掛品	324	34,036
前払費用	43,487	53,195
未収還付法人税等	5,230	12,572
未収消費税等	—	18,920
その他	21,811	12,251
流動資産合計	2,428,905	2,036,936
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	22,057	69,714
工具、器具及び備品(純額)	16,214	36,066
有形固定資産合計	38,271	105,780
無形固定資産		
ソフトウェア	40,801	36,131
その他	563	495
無形固定資産合計	41,363	36,626
投資その他の資産		
投資有価証券	317,636	351,832
差入保証金	159,157	105,726
繰延税金資産	1,676	2,796
その他	10	10
投資損失引当金	△12,070	△12,070
投資その他の資産合計	466,409	448,295
固定資産合計	546,043	590,701
資産合計	2,974,948	2,627,637

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	153,889	78,407
未払金	32,721	68,542
未払費用	17,769	41,351
未払法人税等	21,760	6,609
未払消費税等	36,417	—
契約負債	97,102	70,728
資産除去債務	79,400	—
その他	9,083	3,471
流動負債合計	448,142	269,108
固定負債		
退職給付に係る負債	37,972	37,662
資産除去債務	11,527	23,727
繰延税金負債	34,818	30,379
固定負債合計	84,316	91,768
負債合計	532,458	360,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,483,482	1,483,482
資本剰余金	1,453,482	1,453,482
利益剰余金	△626,226	△791,007
自己株式	△121	△121
株主資本合計	2,310,618	2,145,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,872	120,923
その他の包括利益累計額合計	131,872	120,923
純資産合計	2,442,490	2,266,760
負債純資産合計	2,974,948	2,627,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,366,859	1,225,736
売上原価	712,678	711,642
売上総利益	654,181	514,094
販売費及び一般管理費		
役員報酬	71,625	66,750
給料及び手当	344,128	349,047
法定福利費	51,209	50,606
退職給付費用	2,903	2,806
広告宣伝費	5,972	3,874
不動産賃借料	40,797	48,531
支払手数料	74,857	74,442
研究開発費	38,161	29,600
その他	48,221	59,270
販売費及び一般管理費合計	677,873	684,925
営業損失(△)	△23,692	△170,831
営業外収益		
受取利息	592	651
受取配当金	2,196	2,942
為替差益	8,283	6,685
営業外収益合計	11,071	10,278
経常損失(△)	△12,621	△160,553
特別損失		
固定資産除却損	797	—
特別損失合計	797	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,418	△160,553
法人税、住民税及び事業税	7,414	4,932
法人税等調整額	6,402	△704
法人税等	13,816	4,228
四半期純損失(△)	△27,234	△164,781
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,234	△164,781



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△27,234	△164,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,575	△10,949
その他の包括利益合計	3,575	△10,949
四半期包括利益	△23,659	△175,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,659	△175,729

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。